

キャンプディレクター2級養成講習会



(公財) 大阪 YMCA は

日本キャンプ協会
課程認定団体



Leave No Trace Japan
団体エデュケーショナルメンバー です

特徴

- ・指導者養成団体が実施する、野外、環境、安全の専門指導者による講習です
- ・テント泊、炊事、Leave No Trace 等を通じて実践的な知識、技術、企画運営指導評価を学びます
- ・世界遺産宮島の自然を体験し、自然環境とアクティビティの力を活かしたキャンプを考えます
- ・環境倫理プログラム Leave No Trace Awareness Workshop 修了証を取得します
- ・受講後は救急法や Leave No Trace 講習の案内や指導機会の提供、ディレクター1級取得への支援をします

開催要項 (詳細版)

- 主催：(公財) 大阪 YMCA ウエルネス事業本部
 後援：(公社) 日本キャンプ協会
 日時：2024年2月10日(土) 10時受付～12日(祝) 17時終了 2泊3日
 場所：宮島包ヶ浦自然公園キャンプ場 広島県廿日市市宮島町 Tel. 0829-44-2903
 対象：キャンプインストラクター資格をお持ちの方(年会費納入済)で以下の受講要件を満たしている方
 キャンプインストラクター資格取得後、アウトドア活動参加経験2回以上と1泊以上のキャンプ指導経験1回以上
 内容：*A キャンプディレクター2級養成 — (公社) 日本キャンプ協会
 【実 講 習】 20時間
 ・キャンプディレクター1級・2級共通(はじめに)
 ・キャンプディレクターの役割とキャンプカウンセリング
 ・プログラムの安全管理 ・プログラムのマネジメント(企画・運営・評価・改善)
 *B Leave No Trace Awareness Workshop — (NPO) Leave No Trace
 ・実講習を通じた環境配慮スキル習得、環境配慮を盛り込んだ企画・運営・評価・指導
 レポート課題内容をふまえ、プログラムの企画運営について学び、プログラムの立案と
 プレゼンテーション、評価をおこないます。プログラムのマネジメントについても学びます
 【レポート課題】 40時間 (日本キャンプ協会が提供する教材で行う内容)
 ・全ての科目が含まれています。
 ※講習会前に送付いたします。解答を済ませて講習会にご持参ください
 【修了試験】 60分
 定員：20人(先着順 最少催行人数6人)
 受講料：22,000円(内訳) 指導料、装備一式使用料、食材費(昼1・夕1)、消耗品、宿泊費、保険料
 ※講習中の食事(1日目昼持参弁当, 2日目朝,夕, 3日目朝,昼)は各自食材持参ソロクッキング
 テキスト：「キャンプディレクター必携」第3版 2,200円
 諸経費：資格登録には別途11,000円(事後各自手続き)が必要です 内訳：受験料3,300円、公認料5,500円、登録料2,200円
 資格など：すべてのカリキュラムを十分に修了し*A/すると*B
 *A 修了試験に合格するとキャンプディレクター2級資格が取得できます
 *B (NPO) Leave No Trace 認定の Awareness Workshop 修了証を取得できます
 講師：キャンプディレクター1級, Wilderness Education Association OUTDOOR EDUCATOR,
 Leave No Trace Master Educator Trainer, MFA MEDIC First Aid® ChildcarePlus Instructor Trainer
 Wilderness Medicine Training Center Wilderness First Aid Assistant Instructor
 申込締切：2024年1月12日(金) 17時 必着
 申込方法：最終ページ/HP(右記QRコード)の受講申込書に記入しメールでお申込みください
 キャンセル：キャンセル規定を設けています。ご確認ください
 問合わせ：公益財団法人大阪YMCA 電話：078-891-0050(六甲山YMCA)
 Email：outdoor-training@osakaymca.org



大阪YMCA ウエルネス事業本部は、ビジョン推進事業に賛
 同し、社会に向けてキャンプのちから(つながる力・たの
 しむ力・たちむかう力)を力強くアピールしていきます

キャンプディレクター 2 級養成講習会プログラム

他に例のない、世界遺産「[厳島神社](#)」がある宮島で開催するキャンプ指導者養成講習会です。厳島神社は国宝でもあり、海上の朱塗りの大鳥居は、美しさと共に日本の文化や伝統、歴史を感じます。島の最高峰「弥山（みせん）」山頂周辺には、巨石群が見られ、原生林も保たれ、国特別天然記念物に指定されています。自然・人・文化が調和し、環境を守りながら培われた伝統が垣間見られる環境の中で、キャンプ指導者としての知識や技術はもちろん、環境への配慮や指導者として大切な心を育みます。

【実 講 習】 2泊3日の集合講習で、規定カリキュラムに準拠して実施します。

【レポート課題】 お申込み・開催決定後にレポート課題とテキストを郵送いたします。全問解答を済ませて講習初日の受付で提出してください。日本キャンプ協会が提供する教材による40時間分の学習で、ディレクター2級指導者に求められるすべての科目が含まれます。

【修了試験】 プログラムの企画運営評価、マネジメントについての基本的な事象を確認します。記述式で時間は60分です。



スケジュール

2月10日(土)		2月11日(日)		2月12日(祝)	
	集合	7:00	起床	7:00	起床
10:00	受付開始	7:30	朝食準備	7:30	朝食準備
10:10	開講式 講習会のねらいについて	8:30	朝食(ソロクッキング)	9:00	朝食(ソロクッキング)
11:00	実習 「人間関係づくり」		10:00	10:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
12:00	昼食(持参弁当)		10:00	10:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
13:00	講義・実習 ・プログラムのマネジメント ・プログラムの安全管理 ・環境配慮	12:00	講義 プログラムのマネジメント 「はじめに」	12:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
15:00	生活環境づくり テント設営	13:00	講義 プログラムのマネジメント 「はじめに」	12:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
16:00	野外炊事 (グループクッキング)	15:00	講義 プログラムのマネジメント 「はじめに」	12:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
18:00	夕食	15:00	講義 プログラムのマネジメント 「はじめに」	12:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
19:30	講義・実習 ・プログラムのマネジメント ・プログラムの安全管理 ・環境配慮 ふりかえり	18:00	講義 プログラムのマネジメント 「はじめに」	12:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
20:30	情報交換会	19:30	講義 プログラムのマネジメント 「はじめに」	12:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
	入浴	21:00	講義 プログラムのマネジメント 「はじめに」	12:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
22:00	就寝(テント泊)	22:00	講義 プログラムのマネジメント 「はじめに」	12:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
			終了	14:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
			就寝(テント泊)	15:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				16:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				17:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				18:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				19:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				20:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				21:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				22:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				23:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				24:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				25:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				26:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				27:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				28:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				29:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				30:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				31:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				32:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				33:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				34:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				35:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				36:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				37:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				38:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				39:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				40:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				41:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				42:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				43:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				44:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				45:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				46:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				47:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				48:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				49:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				50:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				51:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				52:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				53:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				54:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				55:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				56:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				57:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				58:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				59:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				60:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				61:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				62:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				63:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				64:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				65:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				66:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				67:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				68:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				69:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				70:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				71:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				72:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				73:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				74:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				75:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				76:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				77:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				78:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				79:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				80:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				81:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				82:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				83:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				84:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				85:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				86:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				87:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				88:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				89:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				90:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				91:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				92:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				93:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				94:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				95:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				96:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				97:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				98:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				99:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」
				100:00	講義 プログラムのマネジメント 「プログラムの評価」

※天候や講習の進行状況等によりプログラムを変更することがあります。

アクセス：宮島包ヶ浦自然公園ホームページ [アクセス](#) よりご確認ください

- ・宮島へは宮島口よりフェリー（JR/松代汽船）に乗船します。運賃 180 円 入島税 100 円
JR フェリーは大鳥居前を通過するため観光客がより多く乗船します
松代汽船フェリーは大型車両運搬や業者、島民がより多く利用します
- ・宮島には自家用車で入れます。講習会場の包ヶ浦自然公園は無料で駐車できます
- ・自家用車でフェリー乗船は、松代汽船をおすすめします
※宮島口周辺のコインパーキングに駐車するよりは、島に自家用車で入る方が安いです
世界遺産の厳島神社や大鳥居方面は地元車両以外通行困難で駐車場もありません
島内にはシカがたくさんいますので、運転には十分気を付けてください
- ・包ヶ浦自然公園までは島内乗合いタクシー（運賃 300 円）または徒歩での移動となります
宮島棧橋 8:16・9:38→8:22/9:44 包ヶ浦 に乗車すると集合時間に間に合います
- ・徒歩の場合、宮島棧橋からは 2.8km ほどあり 50 分程度かかります
集合時間に遅れないように十分注意し、余裕を持ってお越しください。

撮影について：講習中の様子を講師が撮影し、YMCA、日本キャンプ協会、Leave No Trace Japan の広報に利用する場合があります

- ・受講者の皆様の撮影については全員の同意が得られた場合可能とします
- ・講習の全録画、全録音、リアルタイムでの SNS 等アップは禁止します

ルールとマナー：講習会中は終日禁煙です

- ・講習会中の外出は原則できません
- ・指導者にふさわしい言動をお願いいたします

宿 泊：宿泊はテント泊になります。テント、マット、寝袋の装備一式をご利用いただけます

- ・寝袋、マットをお持ちの方は持参して自分のものをご利用いただいて結構です
- ・タオル、歯ブラシ等は持参してください

入 浴：キャンプ場内大浴場/管理棟シャワー室が利用できますが、利用者が少ない場合等は利用できない場合があります。その場合は宮島棧橋方面のホテル外来入浴を検討します
入浴代は各自（講習会費に含まれません）となります

そ の 他：管理棟内に簡易売店がある以外、周辺にコンビニエンスストアなどはありません

- ・事前準備、キャンプ中の行動は Leave No Trace の 7 つの原理を参考にします

食 事：1 日目昼食（飲み物含む）は、持参になります。お弁当と飲み物を持参してください

- ・1 日目夕食はグループ調理となります。食材は提供します
- ・2 日目昼食は給食を提供します
- ・2 日目朝食、夕食、3 日目朝食、昼食はソロクッキング（自炊）となります
食材、調味料等全てご持参ください
- ・ソロクッキング用にシングルバーナー、ガス、コッヘル（1～2 人用の鍋）を貸し出します。
お持ちの方は持参して自分のものをご利用いただいて結構です
- ・おいしく必要なカロリーが摂取でき、調理が簡単で、環境への負荷がミニマムになることを考えて、メニューと食材を決めてください。調理から食事、片付けまでに時間は 1 時間程度です。なるべくコッヘル 1 つで調理できると良いですが、お湯だけ沸かしてレトルトだけ、カップラーメンだけ、缶詰めだけのご遠慮ください。調理場所は 3 日目昼以外屋外です
- ・流しがあります／水汲みには各自持参するナルゲンボトル等を利用してください
- ・冷蔵庫はありません。食材は各自で衛生に気を付けて管理します
- ・お茶、コーヒー等の飲み物をご持参ください。講習中は電気ポットのお湯をご利用いただけます。ただし、持参する食材と同じく、ごみを出さない／減らす／適切に処理することを考慮したものをお選びください

食事一覧

	1日目	2日目	3日目
朝食	-	自炊 (持参食材)	自炊 (持参食材)
昼食	弁当 (各自持参)	給食 (食材提供)	自炊 (持参食材)
夕食	自炊 (食材提供)	自炊 (持参食材)	

・相当な冷え込みが予想されます。温かいスープや鍋料理等をおすすめします

参考：食材の購入・食事作り、メニュー例については、事前に以下の動画（QRコードより）をご覧になり参考にしてください。いずれも Leave No Trace の7原則に沿ったものです

ゴミを出さないために

[#3 キャンプゴミの処理](#)

[キャンプでゴミを出さない処理の方法](#)



参考メニュー

[トマトソースパスタの作り方](#)

[ホワイトソースパスタの作り方](#)



[パンの作り方](#)

[おかゆの作り方](#)



上記以外でも大丈夫です。「山飯」等で検索すると情報を得ることができます



持ち物：キャンプ指導者としてふさわしい服装、装備をご準備ください

✓	品目	備考
	テキスト「キャンプ指導者入門」	インストラクター養成講習会で購入したもの
	テキスト「キャンプディレクター必携」	事前に郵送したもの
	レポート課題	全問解答したものを受付時にお出してください
	冬季に野外活動ができる服装	長袖シャツ、長ズボン
	靴	保温性のあるもの
	帽子	ニット帽等冬用
	手袋	冬用
	防寒着	ダウンジャケット等
	リュックサック（小）	炊事などで使います
	雨具（上下セパレート）	
	ヘッドライト（予備バッテリー含む）	両手が使えるヘッドライトが望ましいです
	軍手	野外炊事用 綿 100% 滑り止めゴムのないもの
	筆記用具	
	スマートフォン	
	スマートフォン用バッテリー	
	タオル	
	洗面用具	
	ロープ（長さ 2m,太さ 6mm 以上）	ロープワーク用
	ビニール袋 45ℓ	荷物の防水やごみ入れに
	ジップロック（S,M,L）	余った食材などをいれます
	1ℓ以上のウォーターボトル	ナルゲンボトルがのぞましい
	ファーストエイドキット	
	ライター（マッチ）	
	布巾	
	雑巾	
	ナイフ（調理用）	ソロクッキング用
	まな板	ソロクッキング用
	はし	割りばしではないものが望ましい
	フォーク	ソロクッキング用
	スプーン	ソロクッキング用
	ゴムへら	ソロクッキング用
	食器（お皿、お椀など）	自炊用
	弁当（1日目昼食）	必ずご持参ください
	自炊食材・調味料（4食）	前述の資料を確認の上ご持参ください
	茶菓子（お土産）	任意です 講習中や情報交換会でシェアします
	保険証	
	受講料、テキスト代、登録料	受講料 22,000円 テキスト代 2,200円 ※現金のみ 釣銭のないように

※その他、必要と思うものがあればご持参ください

以下のサイト（動画）を必ずご覧になり、その上で各自工夫してご準備ください

[【#1 キャンプの準備の仕方】](#)

[登山やキャンプの事前の計画と準備の仕方](#)



[【#2 登山とテント泊】](#)

[自然に影響の少ない山の登り方とテントの張り方](#)



LNT 7 原則



原則1 事前の計画と準備 (Plan ahead and prepare)

- ・行き先のルールや注意することを知ろう
- ・悪天候や緊急時に備えよう
- ・ピークシーズンや混雑する時間帯を避けよう
- ・できるかぎり少人数のグループで活動しよう
- ・できる限りゴミが少なくなるようにパッキングしよう
- ・標識に頼らずに地図とコンパスを使おう

原則2 影響の少ない場所での活動 (Travel and camp on durable surfaces)

- ・指定地、岩、砂、雪、乾いた草など頑丈な土地の上で活動しよう
 - ・キャンプサイトは水辺から60m以上離れたところを見つけよう
 - ・よいキャンプサイトは作るのではなく見つけよう
- よく使われている場所では
- ・指定のトレイルやテントサイトを利用しよう
 - ・トレイルがドロドロでも真ん中を歩こう
 - ・キャンプサイトは植生が少ない場所にできる限り小さく設営しよう
- ほとんど使われていない場所では
- ・人が入っていないところではキャンプサイトや歩行を分散させよう
 - ・インパクトが始まりかけた場所は避けよう

原則3 ゴミの適切な処理 (Dispose of waste properly)

- ・すべてのゴミや食べかすを持ち帰ろう
- ・キャンプサイトや休憩場所を離れる時にゴミを確認しよう
- ・トイレは水辺、テントサイト、トレイルから60m離れたところを見つけよう
- ・トイレは20cm程度穴を掘って行き、終わったらしっかり埋めよう
- ・トイレトペーパーは持ち帰ろう
- ・食器は水辺から60m離れたところで、必要最小限の天然洗剤で洗おう
- ・食べかすはこし網で取り除こう

原則4 見たものはそのままに (Leave what you find)

- ・文化的、歴史的遺跡は触れずに見るだけにしよう
- ・石、植物等すべての自然物は置いて帰ろう
- ・外来生物を運んだり、持ち込んだりするのを避けよう
- ・木で何かを作ったり穴を掘ったりしないようにしよう
- ・キャンプサイトはもとどおりにしてから出発しよう

原則5 最小限のたき火の影響 (Minimize campfire impacts)

- ・できる限りストーブを使うようにしよう
- ・たき火をするときは焚き火台やマウンドファイヤーを使おう
- ・たき火の大きさは必要最小限にしよう
- ・薪には手で折れる程度の落ちている枝だけを使おう
- ・すべての薪が灰になるまで燃やそう
- ・灰は完全に消火してからバラまこう

原則6 野生動物の尊重 (Respect wildlife)

- ・野生動物は遠くから観察しよう
- ・野生動物にエサをあげないようにしよう
- ・食べ物に野生動物が近づかないようにしよう
- ・ペットはいつもつないでおくか、家に置いてこよう
- ・子育てや巣作りなどをしている野生動物には近づかないようにしよう

原則7 他のビジターへの配慮 (Be considerate of other visitors)

- ・他のビジターの体験の質を保とう
- ・他のビジターとスペースを譲り合おう
- ・他のビジターとすれ違うときは登りの人を優先しよう
- ・キャンプや休憩はトレイルから離れて行おう
- ・自然を静かに楽しもう

送信先：主催団体（公財）大阪 YMCA outdoor-training@osakaymca.org

※送信後 TEL 078-891-0050 で必ず確認してください

キャンプディレクター 2 級養成講習会受講申込書

ご参加の会場をお選びください。

10月開催 集中型講習（六甲山YMCA）

2月開催 集中型講習（広島県宮島）

ふりがな 氏名	性別		指導者資格番号（会員番号）
	年齢	歳	—
住所 〒	—	TEL	E-mail
●指導経験について（受講要件） ※ <u>キャンプインストラクター取得後、アウトドア活動参加経験2回以上と1泊以上のキャンプ指導経験1回以上の経験が必要です。</u> <u>どの団体での経験でも構いません。別紙に記載されても結構です。</u>			
■あなたが指導したキャンプについて、お書きください			
① 主催団体名	_____	事業名	_____
② 主催団体名	_____	事業名	_____
③ 主催団体名	_____	事業名	_____
■アウトドア活動参加経験 例：活動名 <u>ロッククライミング</u> <u>2014</u> 年 <u>4</u> 月			
活動名	_____	年	_____
	_____	月	_____
	_____	年	_____
	_____	月	_____
●下記のアンケートにお答えください ※ <u>グループ編成等の参考にします。当てはまる項目にチェックを入れてください。</u>			
<input type="checkbox"/> ①主な収入はキャンプの指導・企画である			
<input type="checkbox"/> ②キャンプを実施する団体や施設などの職員である 団体名・施設名称（ _____ ）			
<input type="checkbox"/> ③キャンプ指導の場を持っている（地域活動、サークルなど） 団体名・施設名称（ _____ ）			
<input type="checkbox"/> ④キャンプでのプログラム（例：ゲームやキャンプファイアーなど）を企画したことがある			
<input type="checkbox"/> ⑤キャンプ全体の企画をしたことがある			
<input type="checkbox"/> ⑥ここ1年間で都道府県キャンプ協会が実施する事業に参加したことがある			
<input type="checkbox"/> ⑦日本スポーツ協会・日本レクリエーション協会・日本オリエンテーリング協会・日本サイクリング協会・ 日本ユースホステル協会が発行する指導者資格を持っている 資格名（ _____ ）			

キャンプディレクター 2 級養成講習会 主催団体 （公財）大阪 YMCA

※受講申込書は、講習の主催団体に提出してください。日本キャンプ協会ではありません。

※どの団体の講習会を受講する場合も、必ず本申込書を記入してください。